

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

あの手この手

2011
9
月号



花言葉は「高潔」
毎年、11月に大和市役所
ロビーにて「菊花展」が開
催されます。

—キク—

あの手この手のマークの間のSはsolution(解決)のSです。

大和市民活動センター[拠点やまと] 第50号 2011年9月1日発行



絵:「Mi Sueño(私の夢)」 ハゲイ・アケミ(大和中2年)

今号の表紙絵は昨年の秋に開催された「やまと国際フレンドクラブ(IFC)主催の『第3回やまと国際アートフェスタ～わたしのゆめ～』で入賞した作品の3回目。スポンサー賞を受賞したハゲイ・アケミさんの作品です。

アケミさんはペルーから日本に来て5年。アートフェスタには毎回参加とのこと。「私は頑張って画家になりたいと思っています。みんなも自分の夢に向かって、頑張って、夢をかなえてほしいと思います。」というコメントが寄せられました。

〈とびっきりの絵を待ってます〉

「第4回やまと国際アートフェスタ～笑顔のちから～」が2011年10月22(土)、23(日)にイオンモール大和で開催します。

“見ているだけで笑顔になれる絵”
“だれかを笑顔にする絵”を募集しています。
応募は学校に提出、あるいは(財)大和市国際化協会へ持参してください。締切りは9月7日(水)です。

とっておきの笑顔の絵を待っています。

やまと国際フレンドクラブ(IFC)事務局
TEL:046-272-1885(はせべ)

第3回大和市民活動センター

登録団体交流会 ～ひろげよう 市民活動の“わ”～

日時:9月11日(日)13:00～16:00

場所:大和市勤労福祉会館 3F ホール

どんなパフォーマンスで活動をアピールしますか。
まずは、参加を。

それも
市民活動？

参加しなきゃ
わからないね。



団体交流会のキャラクター
ピーチクパーチク

*「あの手この手」は大和市民活動センターのH.P.ではカラーでご覧になれます。

〈送付の際、同封されているご案内〉

- ・第 45 回連続共育セミナー「こころのつながりをつくる簡単で面白いやり方」のお知らせ
- ・「情報交差点」

顔と顔を合わせて交流すれば、きつとつながる

第3回登録団体交流会

みんな、集まって！
いよいよ始まるよ。



どんな交流が生まれるか、楽しみだね。

団体交流会のキャラクター
ピーチクパーチク

日時: 9月11日(日) 13:00~16:00

場所: 大和市勤労福祉会館 3Fホール

このイベントに参加して
さらに市民活動が広がっていくよう、期待します。

参加団体まだまだ受付中!
企画詳細まだまだ思案中!

<年間行事として>

- **連続共育(ともい)セミナー**
活躍の話を通して、活動のきっかけを!
- **登録団体交流会**
センター登録団体の横のつながりを!
- **市民活動団体交流まつり(カッコーフiesta)**
市民の皆さんに 広く市民活動を!

他にも

- ★ 「このゆびとまれっ!」(学生ボランティア)
- ★ 「FM やまと やまとっこ☆みつけた」
- ★ 「やまと国際交流フェスティバル」
に参加して、市民活動の輪を広げています。



お互いに専用の「名刺」を交換してご挨拶。

*写真は昨年「第2回登録団体交流会」の様子です。



団体のPRタイム。今年は2分です。

「どんなPRをしていますか?」

- ・年一度 生涯学習センターで「発表会」をしている。
- ・「タウンニュース」に資料を送り、掲載してもらう。
- ・チラシを作成してポスティング。
- ・活動場所にポスターを貼る。
- ・自治会や地区社協とのタイアップで、お知らせしてもらう。
- ・ホームページやブログ、インターネットのメディアを使っている。
- ・市民活動センターの「情報交差点」を活用してチラシを配布してもらう。
- ・作業所やコミセン経由で広がる。
- ・「ロコミ」は着実な方法です。
- ・イベント参加者にお話をする。
- ・セミナーでのお知り合いに話す。

皆で企画します!

皆さんの意見を反映させるため、参加仲間でプログラムを組んでいます。5回目(最終回)打合せを9月7日(水)16:00~18:00 市民活動センターで行います。是非、参加してアイデアを披露してください。今年の「寸劇」はどんな内容に? 「ワークセッション・話し合い」のタイトルは? 「PRタイム」はどのように... などなど。

意見を出し合って決めています。



ハイ! チーズ。今年ももっと大勢で。

昨年のアンケートから

- ・「他者紹介」は他でも使えます。
- ・「PRタイム」時間が足りなかった。
- ・一般の参加者も増やしたい。
- ・裏方さん、今年も頑張ったね!
- ・パフォーマンスが楽しかった。
- ・大和市は色々やっていますね。(市外からの参加者)
- ・団体チラシを直接配って下さい。
- ・行事が重なって手分けして参加した。
- ・他団体の活動を知り、参考になった。
- ・自分のPRって意外と難しいですね。
- ・「ピーチクパーチク賞」ありがとう。
- ・個人参加で、大勢と仲良くなった。
- ・配布資料の文字はもっと大きくして。



「センター」のある日ある時

8月5日(金)くもり

「大和警察です」という電話にビックリ。何事かと思ったら、「センター」の場所を知りたい人がいるとのこと。8日(月)実施の視覚障害者のガイドヘルプをする人が場所の確認のために、交番で聞いたようです。しばらくして「センター」にいらっしやいました。事前確認を怠らない。さすが。

<参加団体(8/31 現在)>

- ・引地川水とみどりの会
- ・演劇やまと塾
- ・WE21 ジャパン大和
- ・オオカミ協会
- ・トコロジストの会
- ・憲法九条やまとの会
- ・大和映像サロン
- ・NPO 訪問相談所 あてんぼ
- ・ナルク横浜
- ・NPOピコピコ
- ・生活クラブ大和コモンズ

お申し込み、問い合わせは 大和市民活動センター Tel: 046-260-2586

夏休みにボランティアやってみたい中・高生「このゆびとまれっ！」

出会いと体験が宝物になりました



～個性を認め合って～

＜「サポートハウス ワン・ピース」の子どもたちとの交流＞

8/6(土) 13:30～17:00 大和市民活動センター

参加者:25名(子ども6名親4名高校生6名ボランティア3名他6名)

★「センター」で段ボールに絵を描いた後、みんなで大和公園でクイズラリー。景品のシャボン玉と水鉄砲を貰いました。シャボン玉を逃がすまいと必死に追いかけてながら感嘆の声をあげる。水鉄砲はたくさん準備したにも関わらず水を入れる作業が間にあわない状況。子どもはもちろんお母さんもボランティアも本気になって相手を追いかけて、頭から足までみんなびしょり。楽しかった面白かったと満足していました。猛暑の真っ只中涼しく爽やかな交流会でした。

*NPO 法人「サポートハウス ワン・ピース」

知的障害児の放課後のあそびを提供している。パズルはたったひとつのピースが欠けても完成しない。それと同じように、ひとりひとりが大切だと思いでつけられた名前。



～遊びから学ぶものがいっぱい～

＜「しんちゃんハウス」で子育て支援＞

毎週(木) 15:30～17:00「しんちゃんハウス」

参加者:12名(中学生2名高校生10名)

★すべての参加日が晴天で、30度を超える暑さの中でも、子どもは元気いっぱい。スタッフの配慮で16:00頃から外遊び。公園や地域のコミセンで、警泥ゲーム・かくれんぼ・ドッチボール・鬼ごっこ・ジャングルジムやブランコなどで遊び、16:45には公園を後にしました。「しんちゃんハウス」への帰り道は家族や友達の話しをしながら信号はきちんと守り、信号のない所は「右を見て左を見て」と声を出して小学校低学年の子どもたちに説明している高校生が頼もしく思えました。

*NPO 法人「地域家族しんちゃんハウス」

児童保育という運営形態をとりながら、障がいのある方からお年寄りまで集える居場所。

～会話の大切さ、知りました～

＜視覚障害者との交流＞

・誘導体験学習

8/8(月) 9:30～11:30 大和市民活動センター

参加者:11名(高校生4名・大学生4名他3名)

★講師の本告(もとおり)さんの説明の後、2人一組になり誘導する側・される側の両方を体験。誘導する人のひとことで誘導される人が安心することを学びました。

・視覚障害者とクラシックコンサート鑑賞&交流

8/8(月)13:00～16:30 「大和ウィーンホール」

参加者:36名(視覚障害者11名高校生8名大学生5名他12名)

★午前中に誘導学習した大学生が、「センター」に集合した視覚障害者を誘導して、大和ウィーンホールに向かった。サクソ奏者の心こもった演奏に合わせていっしょに歌ったり、手拍子をしたり、とコンサートを充分楽しみました。途中、演奏者4人が舞台から降りて、大切な楽器を触らせてくださった。楽器の形、重さを体験して感嘆の声が上がって、「暖かさと優しさに感動しました」という声が寄せられました。

～楽しいから暑くても来るんです～

＜サウンドテーブルテニスで交流＞

8/8(月)、8/22(月) 大和市民保健福祉センター

8/8(月) 参加者:18名(視覚障害者12名高校生1名他5名)

8/22(月) 参加者:24名(視覚障害者11名高校生8名他5名)

★ボランティアの高橋さんからサウンドテーブルテニスについての説明を受けた後、2つのグループに分かれて、それぞれ玉拾い、審判や視覚障害者の誘導(室内、トイレ介助)などを体験し、試合にも加わりました。高校生は飲み込みが早く運動神経が良いなどと、ほめられながら球を転がしていました。視覚障害者はとても強くて高校生は苦戦。障害者も高校生も「夏休みだけの交流は残念」と話していました。

*サウンドテーブルテニス

ボールの中に鈴が入っていて、台の上を転がして行く視覚障害者の卓球。



★★★★★★

セミナーの「話し手」は「センター」の仲間たち

★★★★★★

8/20(土)「五味さんのゴミひろい」と題して

第44回連続共育セミナーを開催しました

話し手は「引地川水とみどりの会」の五味尚生さん

～街がきたないと川が汚れ、海が汚れる～

引地川は2級河川でありながら、水源池より4.46kmは準用河川となり、大和市の管理区域。泉の森は水源涵養林(水源地を守る林)である。緊急時の飲料水として管理しているのは県である、など基本のお勉強から始まった。引地川を下流から上流に向かって清掃していく。様々なゴミに出会う。きちんと分ければ資源になるものばかり。ショッキングだったのはゴミの及ぼす害が如実に表された3枚の写真。ペットボトルのキャップと100円ライターを飲み込んで死んだアホウドリ。口にピッタリとはまってしまったプラスチックリングのせいで、エサを食べられなくなって死んだアザラシ。ビニール袋を飲み込み、吐き出せなくて死んでしまったカメ。彼等の嘆きが聞こえてきました。

次回は

第45回連続共育セミナー

「こころのつながりをつくる簡単で面白いやり方」

～まず、お母さん自身の心のケアから～

日時:9月30日(金)16:00～18:00

場所:大和市民活動センター 会議室

ゲスト:手塚郁恵さん(「くじらのしっぽ」代表)

「いのちをはぐくむ子育て」の創始者・手塚郁恵さんをお迎えして、いろいろな会合やミーティングでもすぐつかえるワークショップをします。

さあ、参加して「こころのつながり」を実感しましょう。

第 135 回 8/2(火) ~短歌は言葉を拾う芸術 ~
〈柏木学園高校ボランティア担当教師〉

生きる目的を見いだせないでいる、また見いだそうとしないでいる15歳の生徒の将来が気になって、何か目的を見出してあげたいと考え、短歌書道部を立ち上げた。心の裡を表現してみるのも良いじゃないか。短歌は紙と鉛筆さえあればできる。見た人が感動する書道。より深い短歌を作るために音楽を聴いたり映画を見たり遊園地にも行きました。ボランティア活動もそのひとつ。毎週水曜日「NPO法人ワン・ピース」で活動している生徒が「おちゃめっ子 笑顔ふりまく りっちゃんも鏡の前では 髪整える」と詠みました。



第 137 回 8/30(火) ~子どもの心大きく育ての思い ~
〈大和北部・南部おやこ劇場〉

テレビづけ・ゲームづけの子どもたちに、生の良い文化に触れ、日常いっしょに遊ぶ仲間づくりをめざしたのが「親子劇場」のはじまり。いじめを受け交友関係で悩んでいた6年生の女の子が、「ど真ん中を通して人間関係を変えていく」と言う「どえらいべ みやちゃん」の劇を見て「吹っ切れた」と言って、今までの悩みが本当に小さかったと感じ、自分も「ど真ん中を通していこう」と元気になる、自信をもって上を向いて学校に通えたとのこと。その女の子の夢がその劇団の脚本家になること。生の舞台の力が子どもたちの生きる力や夢にまで直結しているのだと感じています。劇中の悪役に乱暴だから排除するのではなく、心を寄せるような感想文が紹介された。

〈これからの出演団体〉

第 138 回 9/6(火)カトレア会

第 139 回 9/20(火)大和さくら里親会

第 136 回 8/16(火) ~短歌やボランティアを通じて
仲間を理解する ~

〈柏木学園高校短歌書道部〉

月1回ティータイムコンサートを開催している「大和ウィーンホール」でのボランティア活動を詠んだ先輩の短歌「照明やマイクの用意で多忙だが 裏での仕事は舞台を変える」を紹介。「この短歌は表舞台の人だけではなく、裏方の係りが舞台の出来不出来を左右する大きな役割をもっているのだということを教えてくださいました」と後輩が発言。入部のきっかけは顧問の濱谷先生に「上手」とおだてられて調子に乗る、いつのまにか入部。「今は達成感・充実感を感じながら活動しています」といきいきと話す。褒めて伸ばせを実践し、それに答えている生徒がまぶしく見えました。

やまとっ☆みつけた ☆やまとっ☆みつけた ☆やまとっ☆みつけた ☆やまとっ☆みつけた

やまとっ☆みつけた

「センター」の
ある日ある時。

8月22日(月)雨のちくもり

「めったに見られない物がある」といわれ、外に出てみると、「センター」の大イチョウの樹に、まさに今、羽化したばかりのセミが幹にしっかりとしがみついていた。乳白色の羽が3時間後には茶色に変わっていた。初飛行はどこまで?

地域自治会・3つの消防団の「合同防災訓練」が行われた。最後に本部リーダーが感心する挨拶をした。「次回は実際に役立つプログラムを考えます!」(望月則男)

やはり食が気になる。賞味期限の長い、野外で出来る料理に使える食品を考え備蓄している。ここだけは“断捨離”できない。(村山真弓)

大小、いろんな「もしも」を日頃からいくつも考えておくこと。これ、「想定外」を連発した東電福島第1原発の事故が教えてくれた。(小杉皓男)

熱血編集後記

テーマ:わたしの防災



地震で今心配なのは、本棚の本が飛び出して扉のガラスが割れることと照明器具の落下です。気になりながら後回しになっています。(中山みゆき)

今までは防災グッズに気をつけていました。しかし今回は各自が生き残る術を身につけ、行動するのみと思いました。集合場所はつきみ野 1号公園。(関根孝子)

先ずは、わが身。そして日常の身の回り品の確保。備えは、家族共通の避難場所。そして身体健全、普段の生活の知恵と一応の防災グッズ。(浅見正明)

住んでいる地域は地震が起こるたびに津波警報がでます。地震対策すなわち津波対策。津波が起こったら我が家に2分で到達、2分で何が出来るのだろうか。(櫻井貞代)

耐震補強工事が終わり、少々揺れてもビックリしなくなったが、我が家の角で車同士がぶつかったときはビックリ。災害は地震や台風だけではなくと改めて思った。(石川美恵子)



大和市民活動センター[拠点やまと]が制作発行する
月刊広報紙「あの手 この手」。
9月号(第50号)をお届けします。

8月27日(土)曇り。午前8時20分。私は大和市立渋谷中学校の校庭にいました。この校庭を会場にこの日午前9時から大和市総合防災訓練が行われることになっていました。

[FMやまと]では午前8時45分から12時まで、今日の防災訓練を軸に「もしも いつでも FMやまと防災特番」を会場と局をむすんでライブでの放送という番組が組まれていたので、私は8時前から携帯ラジオで[FMやまと]を聴取しながら会場に到着。土曜日8時からのレギュラー番組「お茶の間ラジオ」を終え、8時45分の「防災特番」のライブになり、やっとそこで今日の防災訓練が中止になったことを知りました。神奈川県に大雨注意報が発令中で、参加者の安全を確保できないというのが中止の理由でした。

会場に着いたとき、市役所職員の姿と動きしか見えず、[FMやまと]で中止とわかり、会場設営ではなく、撤収作業だったのだと判断できました。そしてまた、何度か聞こえた防災行政無線のスピーカーは「今日の防災訓練は中止になりました」とアナウンスしていたのだとわかりました。9時に会場を離れました。渋谷中学校の校門、運動場まわりに「今日の防災訓練は中止」という掲示はまだありませんでした。

こんな8/27(土)朝のささやかな経験でも、知りたいことがなかなかキャッチできない。知らせたいことが的確に伝わらないことがわかります。これ、私たちは3.11の東日本大震災と東電福島第1原発の事故でいやというほど経験しました。

さて、27日(土)の「防災特番」のなかで市危機管理課課長の土田孝司さんは「災害時には大和市やその周辺に特化した病院の状況、飲み水のことなどの情報を[FMやまと]からお伝えします」と話されました。

「タウンニュース大和版」震災直後の3/18(金)号で[FMやまと]を「113時間 眠らないラジオ」と紹介。3/11(金)帯番組「ブリージングスカイ」OnAir中の地震発生時から「みなさん、落ち着いて行動しましょう」とよびかけ、16日(水)朝まで、24時間生放送体制で災害放送を流し続けました。「今まで[FMやまと]など、聴いたことがなかった」「励まされた」という声が多く届けられたと記事にありました。

[FMやまと]は地域コミュニティラジオ放送局。キャッチコピーは「もしも いつでも FMやまと 77.7MHz KANAGAWA おへそラジオ」です。見守り支え、聴くだけでなく、これ伝えたいという情報を届ける聴き手市民でありたいと思います。 記・小杉皓男[拠点やまと]広報係 2011/08/30

[FMやまと]朝一番の生放送「朝ラジオ ホットモーニング」をお聴きください。
(月)~(金)朝7時半から。お相手は「あなたのジョニー」です。



撮影： 小杉皓男